



北極特異点
GENJIIの湯
プールサイド

コラッ!
その!
プールサイドは
走るなッ!

監視員が
様になってるね
バーゲスト

あッ
マスター……♡

マスターも
安全には気を付けて
安全には気を付けて
お遊びください……

おどろ

おどろ

おどろ



ああッ
全然いいよ!

し……失礼マスター……
少しだけ持ち場を
離れるので……
代わりにここを
頼む事は……?

この通信は……っ
えっ……ちよ……
い……いますぐ……?
♡

申し訳ない！
すぐ戻るので…！

たっ たっ たっ…

バーゲスト
頑張ってるな…

俺も負けずに
頑張らないと！

人気のない
シャワー室…

きゅ…急に
呼び出すなど
あれほど…

しかもこんな
近くで…

ヒチャヒチャニチャニチャ

わわっ！
それは大変だ！
早く
済ませないと…

ごめんね！
皆の水着を見てたら
ムラムラしちゃって…

でも忙しかったなら
別に大丈夫って
言ったでしょ？

と…ともかく！
早く済ませろ…
マスターを
待たせてある
からな…

いたおん



ああ〜♡♡♡
やっぱ♡バーゲストの♡
筋肉おまんこ♡最高お♡
これなら♡すぐ♡
でちゃう♡♡♡

待て♡仕事♡
あるから♡♡
生中出しは♡♡

むり♡♡むり♡
出る♡♡でるう♡
♡♡



はあああ♡♡
腰抜けるくらい
気持ちよかったあ♡

あっ♡
口に近づけたら♡
無意識にお掃除♡

いっぱい教えた♡
成果がでてるね♡

まだ時間…
大丈夫だよ♡



ちよ♡まで♡
ない♡時間ない♡

これいじょうは♡

くっつくくっつくくっつく



15分後…

なぜか赤い顔で
帰ってきたバゲ子に
色っぽさを感じる
マスターであった…











